※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　美術科

科目	造形演習Ａ	単位数	1
使用教科書	なし		
副教材等	美術資料　大阪府版（秀学社）		
レポート	3通		
必要出席回数	4回		
テスト	×（レポート・スクーリングで取り組む実技課題に代える。）		
課題・実習等	２点以上の作品提出が必要		

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 指定された課題で、自主的な作品制作に取り組んでいくことになります。
- 必要な用具、材料は各自で準備してくる必要があります。
- あわせて造形演習Ｂを受講してください。美術Ｉを履修または修得していなくても受講できます。

２　学習の到達目標

- 設定された課題を通して、表現の多様性について幅広く知り、自らの作品制作にいかせるよう必要な技能を身につける。
- 個性豊かで創造的な表現をするために、それぞれの表現の面白さ、良さ、美しさに気づき、感性と美意識を磨く。
- 様々な美術作品に触れ、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	多くの歴史的美術作品や美術文化などに興味を持ち、自己の価値観や美意識を働かせ、そのよさを自分なりに味わい、表現しようとしている。	・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけようとし、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして表している。 ・個人の感性や想像力を働かせ、独創的な創造活動や表現の構想を練っている。	・多様な美術の表現方法や美術文化に関心を持ち、創造活動の喜びを味わい、主体的に個性豊かな表現や鑑賞に取り組もうとする。 ・積極的、計画的に学習を進めようと工夫している。

●学習指導要領(第１章第２款の５)に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用することもある。

●学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	実技課題A1	鉛筆デッサン	a：出題された設問の正答率。取り組みの丁寧さ。 b：課題内容の理解度。自らの構想に合わせ材料・用具を選択し、意図に合った表現ができているか。創意工夫できているか。取り組みの丁寧さ。完成度。 c：取り組みを振り返り、鉛筆デッサンの面白さ、美しさなどについて考え、作品の見方や感じ方を深めたりしているか。見通しをもって、積極的、計画的に学習を進めようとしているか。	教科書から出題された設問の正答率。取り組みの丁寧さ。	課題内容の理解度と独創性、取り組みの丁寧さ、完成度。	振り返りコメントの内容。積極的に学習計画を立て、計画通りに実行できているか。
	実技課題A2	ポストカード	a：出題された設問の正答率。取り組みの丁寧さ。 b：課題内容の理解度。自らの構想に合わせ材料・用具を選択し、意図に合った表現ができているか。創意工夫できているか。取り組みの丁寧さ。完成度。 c：取り組みを振り返り、小作品制作の表現の多様性、可能性に気づき、面白さなどについて考え、見方や感じ方を深めたりしているか。見通しをもって、積極的、計画的に学習を進めようとしているか。			
	鑑賞・美術史A1	美術作品を鑑賞し感想をまとめる	a：出題された設問の正答率。教科書から選んだ作品をじっくり鑑賞し、自分なりの見方で感じ、考え文章にできているか。取り組みの丁寧さ。 b：課題内容の理解度。自ら選んだ美術的テーマについて調査し、自分なりの見方で感じ、考え文章にできているか。取り組みの丁寧さ。 c：取り組みを振り返り、美術作品や文化などに関心を持ち、そのよさや美しさを味わい理解を深めたりしているか。見通しをもって、積極的、計画的に学習を進めようとしているか。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度